

この人に聞く

グリーン・ツーリズムは、現在、地域活性化のために全国各地で取り組まれています。各地とも自然豊かな農山漁村において地域の歴史文化に触れたり、体



伝統を活かす：裂織りの復活



南予地域
観光マネージャー
川崎 祥一氏

験民宿によって暮らしの知恵を学びながら交流を深める等、都会では味わえない多くの新鮮な体験を通して、新たな発見がなされており、グリーン・ツーリズムに関心を寄せる人々が徐々に増えております。

愛媛県南予地域においても、すでに「株式会社おおず街なか再生館」が、平成14年4月から、多方面からのアドバタイザー参画を得ながら地域食文化の開発・販売を行うとともに、昨年からは大洲近隣の観光資源開発を行い、着地型旅行業の実施に力を注ぎ、成果をあげております。

このような中、今年六月に伊方町で「佐田岬ツーリズム協会」が発足し、愛南町でも「愛南グリーン・ツーリズム研究会」が始動することとなりました。今後、これらのグリーン・ツーリズム組織が実りあるものになるためには、まずは今現在地域に有るさまざまな資

源を見つめなおし、有効に活用できるものがないかを、広くかつ深く協議することではないかと思われれます。また資源の活用にあたっては、人的交流が期待できるものを優先的に実施していくとともに、地域住民のみなさんの全体合意がなされたものを主体的に実施していくことが重要であると思われれます。

南予地域におけるグリーン・ツーリズム活動は、まだ初期の段階です。無理をせず、自然体で町づくりの一環として行なわれるとともに、この活動が愛媛県内全域に広がっていくことを願いつつ、私自身の活動も微力ながら地域活性化の一助になればと考えております。



佐田岬半島